

会員早話

東日本大震災被災地の現状



高橋 義孝 会員

私が行きましたのは、岩手県陸前高田、大船渡です。先週は宮城県仙台市に行っていました。被害状況は映像で見ておられる通りですが、実際に行ってみて感じたのは、地震の大きな揺れでペしやんこになったのではなく、津波による被害だったのだなと、やはり感じました。陸前高田におきましては、津波に襲われた場所と、そうでない場所は全く違う世界で、津波に襲われてない場所は、瓦一つ落ちておらず、普通の家並みでした。

また、津波の被害の無かった内陸部には、まだまだ余力があるとも感じました。これから、その余力をいかに拡大していくかが復興の鍵になると思います。



望月 威男 会員

一番新しいニュースとして、私の息子が今朝、青森のお客さんまで配達に出ました。数日前の震度6の余震のせいで、仙台から一関・盛岡の間の高速道路が2箇所くらいダメになっていましたが、つい先日開通しました。「それなら来て欲しい。」とのことで行くこととなり、先程青森の弘前に到着したと連絡がありました。

道中の話を聞きましたが、一番激しい震度を記録した栗原市付近は、ボコボコで制限速度60~70キロだったようです。そこを通り過ぎると、制限速度は80キロですが、朝8時過ぎに出て、午後5時前に弘前に着いたようです。

海岸線付近の町が立入禁止または、自主避難の地域となっています。そこに勤めている人が内陸部にもいて、仕事が無くなってしまっているのが現状です。テレビで見ていると、海岸線がダメになっている印象ですが、実際は内陸部にも大きな影響があります。

また息子は、常磐ロータリークラブに入っていますが、地震後全ての行事がストップしています。今後ロータリー同士の支援をどうしていくか、理事会でもお話しましたが、次年度の柳瀬会長年度も含めまして、長い目でどのような支援がいいのか考えていきたいと思います。

委員会報告

■国際奉仕委員会（糠谷委員長）

4/16~4/18台湾中和RCを6名で訪問します。

出席報告……………針谷委員長

	月/日	総会員数	出席者合計	会員欠席	出席率	メイクアップ	確定出席率
前々回	3/28	45名	38名	5名	—	(0名)	88.3%
前回	4/4	44名	38名	3名	92.0%	(名)	—
本日	4/11	44名	37名	6名	—	(名)	—